

- ・イベント開催報告
- ・住宅履歴情報とは？
- ・工事現場
- ・電気自動車の充電コンセント
- ・社長の一言
- ・イベント情報
- ・割りばしが山林を救う！



木の香る 健康な ”すまい便り”

増刊号 -2011. 3-



この度の東北地方太平洋沖地震、その他相次ぐ地震で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。
被災された皆様の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

イベント 開催報告

プリザーブドフラワー教室を開催しました！



2月19日(土)プリザーブドフラワー教室を開催しました。
プリザーブドフラワーは、生花に特殊液を吸わせて枯れないようにしたもので、湿度などに気を付ければ2～3年は美しさを保ちます。

お花をテーマにした体験教室は毎回人気で、今回も20名の方に参加して頂きました！

プランターの色決めから始まり、バラとカーネーションの色の取り合わせを決めます。これが結構楽しい作業☆自分の好みの色や出来上がりを想像して、皆さんワクワクしてらっしゃる様子が伝わってきました。それから作業開始です。繊細なプリザーブドフラワーを壊さないように気を付けながら、茎部分にワイヤーを巻いたりして下準備。初めは難しいけれど、慣れてくると手際良くてできてきました。

いよいよプランターに飾りつけです。
角度や色の取り合わせ、色々考えて素敵なアレンジメントの完成です！
最後に皆さん、自分の作品と一緒に記念撮影。どれもこれも個性が出ていて素敵です。

参加者の方から「思ったよりもボリュームがあり綺麗に出来て満足」とのお声を頂き、良かったです。
これからも皆さんが楽しんでいただけるイベントを企画してまいります。
ぜひご参加くださいね！



情報

最近聞くワード「住宅履歴情報」とは？

住宅履歴情報とは、住宅の設計・施工・維持管理・権利及び資産などに関する情報のことで、住宅所有者が情報を蓄積・活用していくためのものです。いつ、誰が、どのように新築や修繕、改修、リフォームを行ったかを記録した住まいの「履歴書」です。

では、なぜこの「住宅履歴情報」が注目されているかというと、「家を手入れして 長く使う」ために必要な情報だからなのです。日本の住宅は新築されてから、壊されるまでの年数は平均30年で、欧米に比べて非常に短くなっています。まだ使える家を次々に建て替えてしまうことは、地球環境への負荷が大きい上に住まい手の居住費負担が大きくなります。

そこで国が主導して「いいものをつくって きちんと手入れして 長く大切に使う」ストック型社会への転換を目指した「長期優良住宅」制度が2009年6月からスタートしました。

住宅を何世代にも渡り利用し続けるには「丈夫に建てる」ことが

大切ですが、それだけでなく点検や修繕の維持管理がきちんと行われなければなりません。その維持管理を適切に行うために、住宅がどのように設計され、どのような修繕、改修、リフォームがされたかという「住宅履歴情報」が不可欠になります。

最後に「住宅履歴情報」がある家とない家では、どう違うのか？を考えてみます。住宅履歴情報があると、①計画的な維持管理ができる ②合理的で安全なリフォームができる ③売買や賃貸に有利 ④不具合時の迅速な対応 などが有利になります。

このような理由で、これからは「長期優良住宅」や「住宅履歴情報」のある家が、あたり前になると言われて注目されています。



いえがるて
住宅履歴情報

木の香る健康な住まい

徳矢住建 株式会社

お問い合わせは！

TEL (0742) 33-4389



徳矢住建株式会社

<http://www.tokujajyuku.co.jp/>

〒630-8113 奈良市法蓮町465-1 一級建築士事務所 第1338号／建設業許可（奈良県知事 特-第144号）／不動産取引業（奈良県知事 第865号）